

日本教育経営学会 第53回大会プログラム

会場：筑波大学 筑波キャンパス

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

期間：2013年6月7日(金)～9日(日)

*筑波大学開学 40+101 周年記念事業認定



日本教育経営学会第53回大会準備委員会

大会期間中(6/7～6/9 限定)連絡先

TEL 080-3573-1353

第 53 回大会に寄せて

日本教育経営学会 会長 牛 渡 淳
(仙台白百合女子大学教授)

本年、筑波大学において本学会第 53 回大会を開催することになりました。本大会の開催に当たってご尽力を頂いた大会準備委員長の浜田博文会員には心より御礼を申し上げます。

さて、今年の 3 月で、東日本大震災から 2 年となり、震災にかかわる様々な催しや会議、出版、テレビ・ラジオでの特集番組などが行われました。本学会におきましても、学会事務局が被災地の仙台におかれていることもあり、本大会を含め、今後三回の大会で、震災と教育経営に関わるミニシンポを理事会企画として開催することになりました。地域の中の学校の役割、危機管理の在り方、スクールリーダーの役割、命と教育に関わるカリキュラムの開発等に加え、震災を現代の文明・社会の存在そのものを問い直すきっかけにすべきという声もあり、震災が教育学研究、そして、教育経営研究に突き付けた課題はきわめて大きいものがあります。

さらに、昨年 12 月の政権交代により、自民党政権が復活し、教育経営をめぐる状況が大きく変化する可能性が出てまいりました。特に、いじめや体罰をめぐる問題、道德教育、教育委員会制度改革等が、現在、教育再生実行会議で検討されています。これらは、本学会が以前から取り組んできたテーマではありますが、今新たな形で、そしてまた、新たな文脈の中で問い直されています。また、昨年 6 月の民主党政権下の中教審答申においては、新たな教師教育制度改革案が提示され、その後の自民党の教育再生実行本部「中間取りまとめ」においても、大胆な改革案が示されています。これらは、今後の、教職員・学校管理職の在り方、それらの養成・研修の在り方、そして、学校経営全般に関して、大きな影響を与えることが予想されます。

このように、今、わが国の教育経営をめぐる環境は大きな変化に直面しています。このような時に、本学会大会で、全国の会員の皆様とともに、日頃の研究成果を発表し、議論し、貴重な知見を共有することは、大変有意義なことと思います。特に、会員の皆様ご承知のように、筑波大学は、歴史的に、本学会の発展を担ってきた中核的な大学のひとつであります。この大学で大会を開催できますことは、大変喜ばしいことであり、また、本学会の原点を再確認する大会になることでしょう。

年に 1 回の全国大会です。本学会の会員が、全国から集い、そして、交流する絶好の機会です。会員の皆様には、ぜひ筑波において頂きますようお願いいたします。北から南から、東から西から、多くの会員が本大会に結集され、交流の輪が広がることを願ってやみません。

第 53 回大会開催にあたって

第 53 回大会準備委員長 浜田博文
(筑波大学教授)

日本教育経営学会第 53 回大会の準備委員長を仰せつかりました浜田博文です。本学会は私自身にとりまして、大学院入学後初めて入会させていただいた学会であり、研究発表や論文投稿などの機会を通じて諸先輩方から数多くの教をいただけてきました。このたび、学会員の皆様へのご恩返しの機会をいただきましたことをたいへん光栄に存じます。

奇しくも、今年の 10 月 1 日をもって筑波大学は開学 40 周年を迎えます。その源流である日本最初の「師範学校」が東京に創設された 1872 年から数えますと創基 141 周年となります。当学では今年、「筑波大学開学 40+101 周年記念事業」をさまざまに展開しており、本大会もその一つに認定されて大学から支援を受けております。封筒や表紙にはそのロゴを掲げさせていただいております。

本学会の大会がつくばの地で開催されますのは今回が 3 度目だと、過日お送りした大会案内には記載しましたが、その後、それは誤りであることがわかりました。今回が 4 度目です（十分に確認しなかったことをお詫びし訂正いたします）。私は 1998 年 9 月に当学へ教員として着任し、2000 年、第 40 回大会のときに準備に加わらせていただきました。まさか 13 年後に自分自身が委員長という立場で皆様をお迎えすることになるうとは思いませんでした。当地で学会を開催するたびに交通事情は変化してきましたが、2005 年には「秋葉原」駅と「つくば」駅を 45 分で結ぶ「つくばエクスプレス (TX)」が開通し、都心からキャンパスまで 1 時間半ほどで到着するようになりました。

今回の大会では例年と異なる企画が 2 つ加わっております。第 1 日目の「若手研究者のためのラウンドテーブル」と第 2 日目の理事会企画ミニシンポジウム「災害復興と教育経営の課題と方策」です。前者は、第 40 回大会の時にも開催した企画の”復活”です。後者は、2010 年の東日本大震災による甚大な被害とそれを受けて本学会がおこなった調査研究等の蓄積を踏まえて、牛渡会長のもとで取り組みを継続していこうとするものです。こうした新企画を組み込んだ関係上、3 日間の大会の内容・時間構成には苦慮いたしております。また、じつは当初使用を予定しておりました校舎が耐震補強改修工事のため使用できなくなり、急遽、会場の変更を余儀なくされました。そのため参加者の皆様には少し窮屈なところもあるかと思いますが、どうぞご容赦ください。ともあれ、懇親会は万全の態勢で怠りなく準備いたします。「つくばの夜」をご堪能ください。

できるだけ多くの皆様につくばまで足を運んでいただきご満足いただけるように、準備委員会一同、精一杯努力いたします。皆様のご参加とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第 53 回大会プログラム目次

大会日程及び会場	4
大会参加について	5
自由研究発表要領について	7
キャンパスアクセスマップ	8
会場配置	11
緊急時の対応について	13
第 1 日 6 月 7 日 (金)	
若手研究者のためのラウンドテーブル	14
第 2 日 6 月 8 日 (土)	
自由研究発表 1	15
自由研究発表 2	16
自由研究発表 3	17
自由研究発表 4	18
自由研究発表 5	19
理事会企画ミニシンポジウム	20
公開シンポジウム	22
総会・懇親会	24
第 3 日 6 月 9 日 (日)	
自由研究発表 6	25
自由研究発表 7	26
自由研究発表 8	27
自由研究発表 9	28
自由研究発表 10	29
実践研究フォーラム	30
課題研究	31

大会日程および会場

6月7日(金)	会場：人間系学系棟B棟5階	
13:30～15:20	紀要編集委員会	B532(大会議室)
	研究推進委員会	B513(教育行政調査室)
	実践推進委員会	B521(小会議室)
	国際交流委員会	B501
15:30～17:30	全国理事会	B532(大会議室)
	若手研究者のためのラウンドテーブル	B521(小会議室)
6月8日(土)	会場：総合研究棟A棟、文科系修士棟、第一エリア	
8:15～	大会受付・学会受付	総合研究棟A棟1階
9:00～11:55	自由研究発表	総合研究棟A棟1階・2階、 文科系修士棟2階
11:55～13:00	(昼休み)	
13:00～14:00	理事会企画ミニシンポジウム	1H201[第1エリア]
14:15～17:15	公開シンポジウム	1H201[第1エリア]
17:30～18:30	総会	1H201[第1エリア]
18:45～20:15	懇親会	第1エリア食堂
6月9日(日)	会場：総合研究棟A棟、文科系修士棟	
7:50～	大会受付・学会受付	総合研究棟A棟1階
8:10～10:40	自由研究発表	総合研究棟A棟1階・2階、 文科系修士棟2階
10:55～12:40	実践研究フォーラム	総合研究棟A棟A110
12:40～13:40	(昼休み)	
13:40～15:40	課題研究	総合研究棟A棟A110
大会事務局本部		総合研究棟A棟A108
理事会企画ミニシンポジウム打ち合わせ		人間系学系棟B棟5階 B532(大会議室) (6月8日11:50～12:50)
公開シンポジウム打ち合わせ		人間系学系棟B棟5階 B521(小会議室) (6月8日11:50～12:50)
実践研究フォーラム打ち合わせ		人間系学系棟B棟5階 B521(小会議室) (6月9日9:40～10:40)
課題研究打ち合わせ		人間系学系棟B棟5階 B521(小会議室) (6月9日12:30～13:30)

大会スケジュール

6月7日(金) 12:30 13:30 15:20 15:30 17:30

	受付	研究推進委員会 実践推進委員会 紀要編集委員会 国際交流委員会	休憩	全国理事会 若手研究者のための ラウンドテーブル
--	----	--	----	--------------------------------

6月8日(土)

8:15 9:00 11:55 13:00 14:00 14:15 17:15 17:30 18:30 18:45 20:15

受付	自由研究発表	移動 昼食・	理事会企 画ミニシ ンポジウ ム	休憩	公開シンポ ジウム	休憩	総会	休憩	懇親会
----	--------	-----------	---------------------------	----	--------------	----	----	----	-----

6月9日(日)

7:50 8:10 10:40 10:55 12:40 13:40 15:40

受付	自由研究発表	休憩	実践研究 フォーラム	昼食	課題研究
----	--------	----	---------------	----	------

大会参加について（ご案内）

1. 参加申し込みの手順

(1) 大会参加申込ハガキ

大会参加申込については、同封の大会参加申し込みハガキ（兼・総会委任状）に必要事項をご記入のうえ、**5月17日（金）（必着）**で大会準備委員会宛にお送りください。

(2) 参加費・懇親会費について

大会の参加費、懇親会費は以下の通りとなります。当日、大会受付にてお支払いください。

大会参加費	正会員（学生除く） 臨時会員	4,000 円
	学生正会員（常勤の職を 有さない学生に限る）	1,000 円
懇親会費（一律）		4,000 円

2. 受付

(1) 6月7日(金)

全国理事会、各種委員会、若手研究者のためのラウンドテーブルの参加者は、人間系学系棟B棟5階にて大会受付を行います。

(2) 6月8日(土)、6月9日(日)

6月8日(土)、9日(日)の両日とも、総合研究棟A棟1階にて大会受付を行います。

3. 懇親会

日時：6月8日(土) 18:45～20:15

会場：第1エリア食堂

会費：4,000円

皆様お誘いあわせの上、ご参加いただければ幸いです。

4. 昼食

6月8日(土)・9日(日)は、学生食堂が営業しておりません。大会参加申込ハガキでお弁当を事前に注文ください。事前注文されなかった場合は、ご自分でお弁当をご持参ください。お弁当は、各自、8日(土)は、第1エリア1H101、9日(日)は、総合研究棟A棟1階(A111、A107)でお取りください。

5. 宿泊

<宿泊について>

なお、宿泊に関する斡旋・予約の仲介等はいたしませんので、大変恐縮ですが、各自でご手配をお願いいたします。「つくば」駅か「研究学園」駅の近くが便利かと思えます。

★参考サイト：<http://www.ttca.jp/> (つくば観光コンベンション協会)

自由研究発表要領について

1. 発表時間

自由研究発表の時間は、以下の通りです。

- (1) 発表者が1名の場合：発表時間 20 分＋質疑 5 分（計 25 分）
- (2) 発表者が複数の場合：発表時間 40 分＋質疑 10 分（計 50 分）
- (3) 各会場、共同討議の時間は 20 分です。

2. 発表機材

会場には、プロジェクターとパソコンを用意しております。使用される場合は、係員の指示に従ってご使用ください。使用される会員は、6月8日（土）、9日（日）とも開始時刻の15分前までに会場に来て動作確認をしてください。

3. 発表資料

当日、発表資料を配布予定の方は、不足が生じないように必要部数（各自 70 部を目安）をご持参の上、該当会場の係員にお渡しください。

※資料の複写等のご要望には、大会準備委員会としてお応えできません。

※発表資料等を準備委員会宛に送付することはご遠慮願います。

発表資料等は、発表の当日に、持参してください。

4. 発表の取りやめについて

万一、お申し込みいただいた発表を取り止める場合は、必ず事前に大会準備委員会（期間前：jasea53@human.tsukuba.ac.jp または、029-853-6743、期間中（6月7日～6月9日のみ）：080-3573-1353）までご連絡ください。発表者が欠席の場合は、発表時間の繰り上げはせず、質疑・休憩の時間に割り当てます。

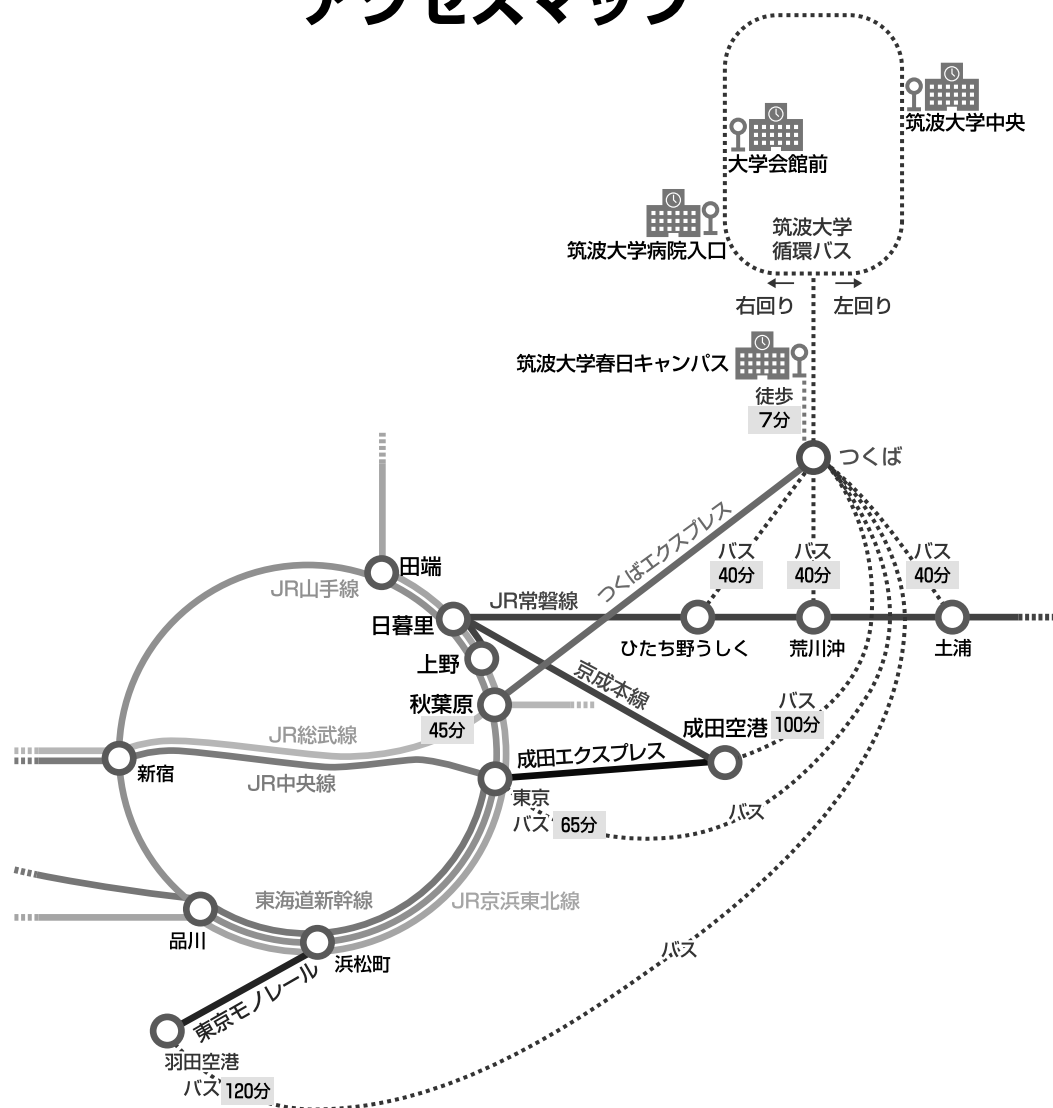
5. 所属名について

発表者、司会者等の所属名については、所属機関名称の記載を基本にしています。部局名等の詳細は省略しました。学生の発表者には、大学院生と付けました。

6. その他

発表者は、指定発表開始時間にかかわらず、会場の開始 10 分前に司会者に出席を通知してください。

アクセスマップ



交通のご案内

(1) 電車をご利用の場合

- ① 「秋葉原」 駅から「つくば」 駅まで、つくばエクスプレス(TX)にご乗車下さい（快速電車で45分です）。

つくばエクスプレスHP <http://www.mir.co.jp/timetable/index.html>

- ② TX 「つくば」 駅（つくばセンターバスターミナル）の6番バス乗り場から、関東鉄道バス「筑波大学循環（左回り）」又は「筑波大学中央」行のいずれかにご乗車ください。（料金は片道260円です。）「筑波大学中央」バス停にお越しください。

つくば駅から筑波大学中央バス停へは、約20分です。

バス時刻表 <http://www.kantetsu.co.jp/bus/rosen/timetable/timetable/center/06.pdf>

バス時刻表（大学循環） <http://www.kantetsu.co.jp/bus/rosen/timetable/timetable/tc/02.pdf>

- ③ 「筑波大学中央」バス停から、総合研究棟A棟（受付）へ徒歩1分です。

(2) 高速バスをご利用の場合

- ① 東京駅（八重洲南口）から「筑波大学」バス停までご乗車下さい（所要時間は、道路事情などによって変わりますのでご注意ください。詳しくは以下のHPをご覧ください）。

高速バスHP（関東鉄道） <http://www.kantetsu.co.jp/index.html>

高速バスHP（JRバス） <http://www.jrbuskanto.co.jp/>

- ② 「筑波大学」バス停から、総合研究棟A棟（受付）へ徒歩1分です。

キャンパスマップ(1)



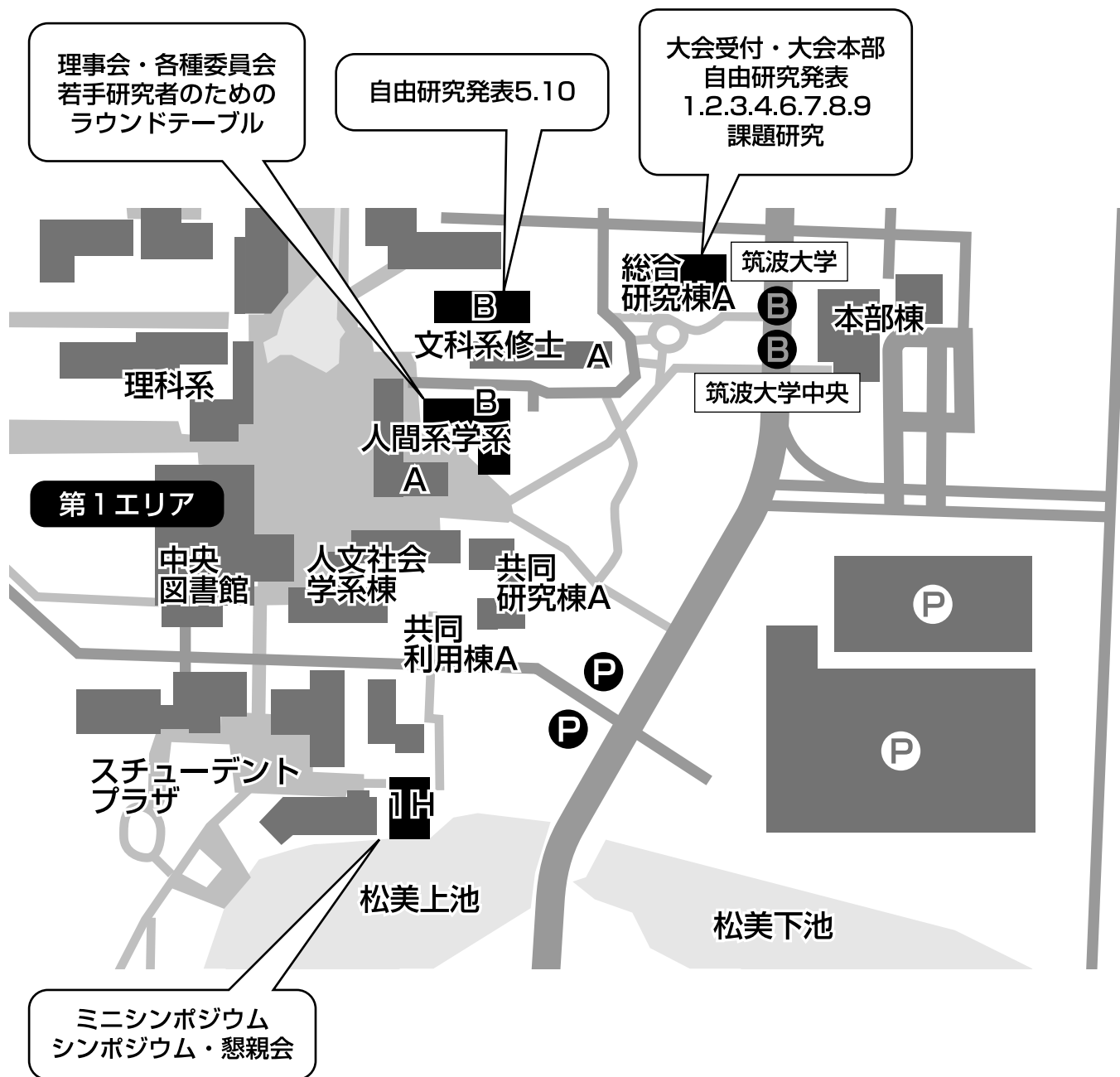
※6/7(金)の受付は、人間系学系棟5階です

※シンポジウムより参加される方も、はじめに必ず「大会受付」にお越し下さい。

※6/8(土)～6/9(日)の「大会受付」は総合研究棟A棟1階です。

※車でお越しの方は本部棟前駐車場をご利用下さい。

キャンパスマップ(2)



※総合研究棟A棟（大会受付）から、シンポジウム会場までのルート

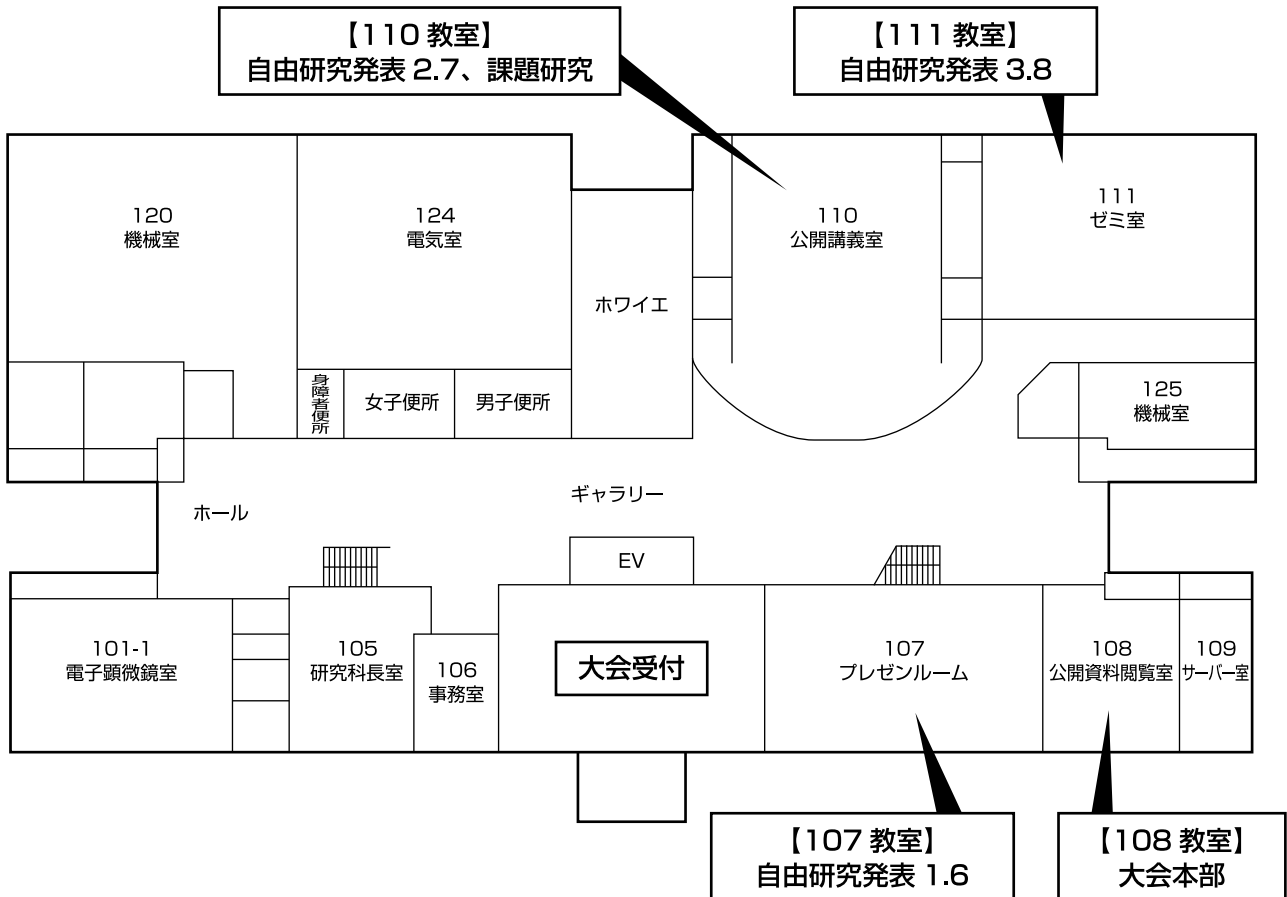
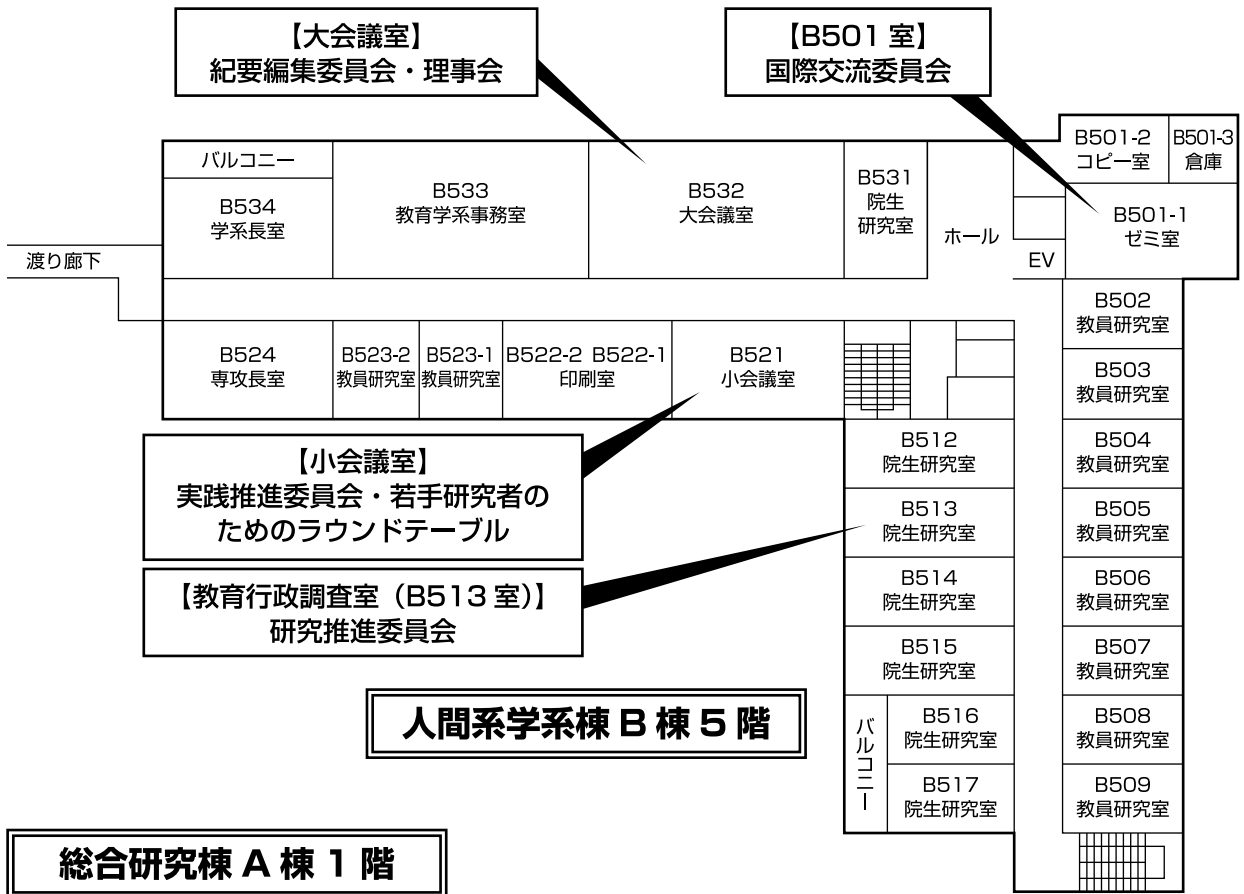
総合研究棟A棟から、シンポジウム会場がある1H棟までは、徒歩5分ほどです。

- ①総合研究棟A棟を出て、人間系学系棟B棟の前を通り過ぎて頂き、目の前に見える階段をあがって、中央図書館が見える広場に出て下さい。
- ②中央図書館を右にして進んで頂くと、連絡橋が見えてきますので、そちらをお渡り下さい。
- ③学生プラザがあります広場の左斜め奥がシンポジウム会場のある1H棟です。

※総合研究棟A棟からシンポジウム会場までのルート、また、シンポジウム及び懇親会会場から、最寄りのバス停までのルートがご不明な場合は、当日、大会スタッフにお尋ね下さい。

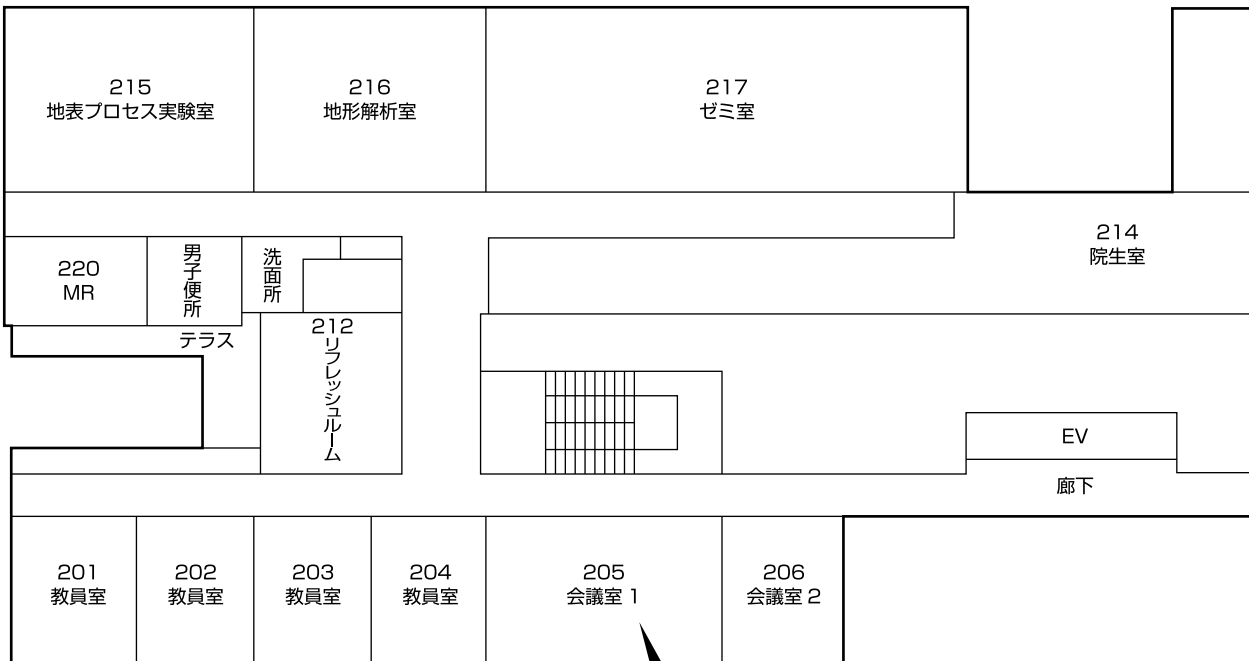
なお、事前のお問い合わせにはお応えしかねます。

会場配置図(1)

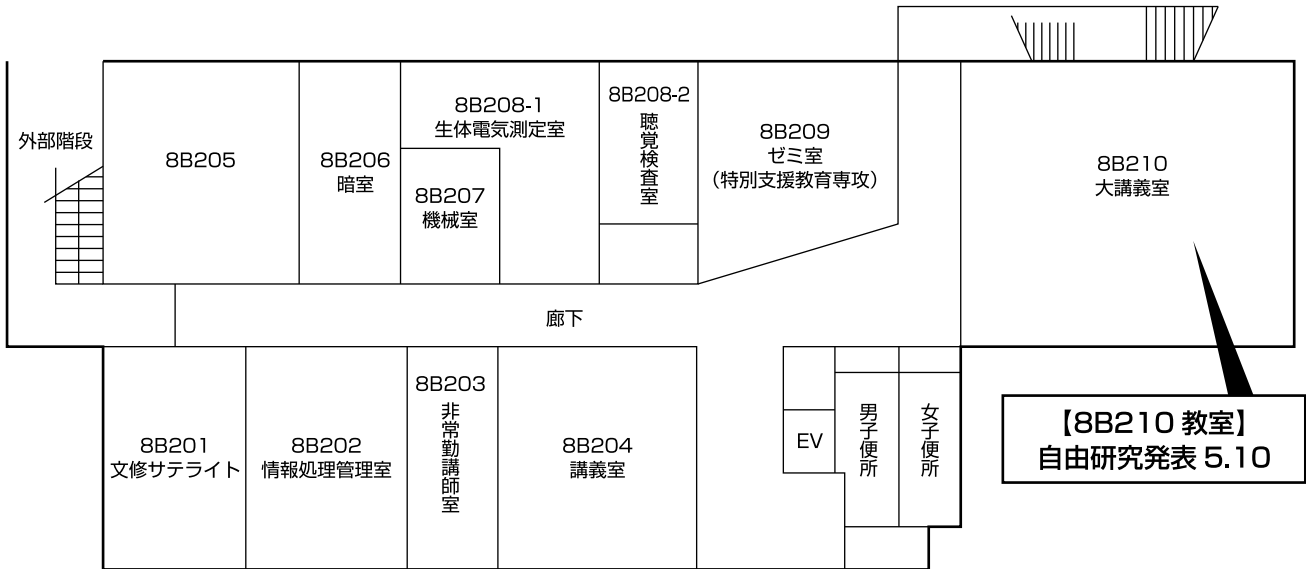


会場配置図(2)

総合研究棟 A 棟 2 階



【205 教室】
自由研究発表 4.9

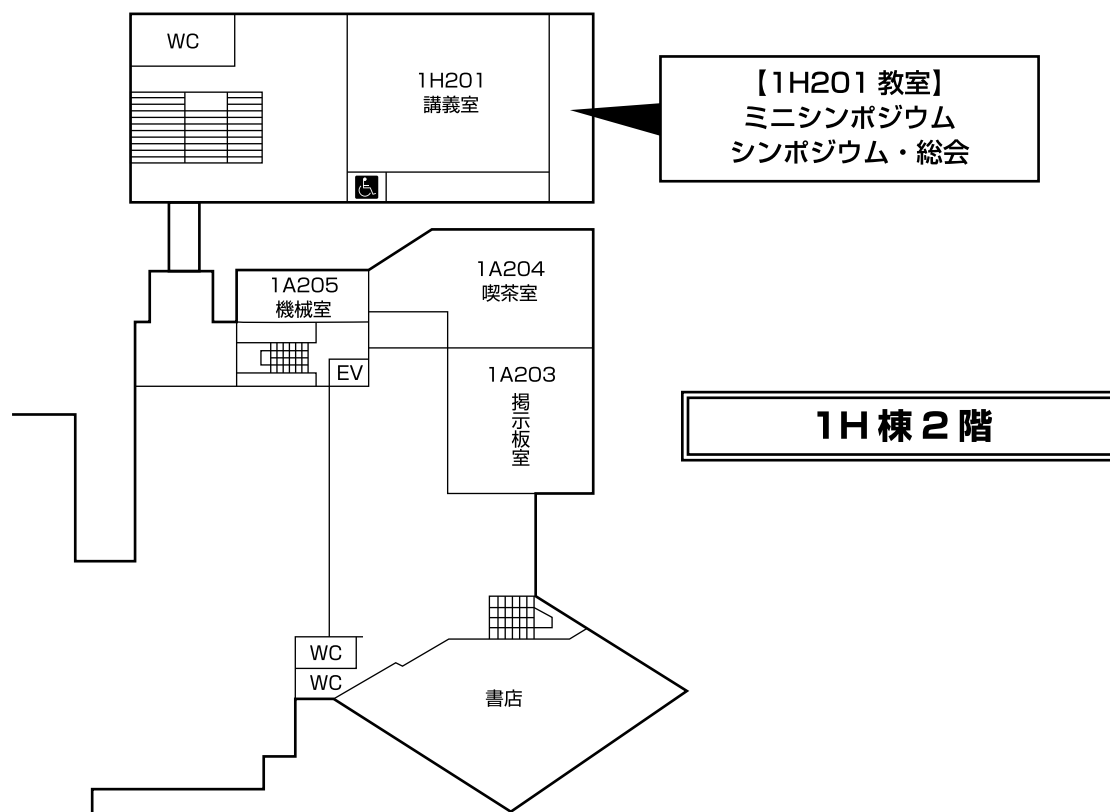


【8B210 教室】
自由研究発表 5.10

文科系修士棟 B 棟 2 階

廊下
ホール

会場配置図(3)



★緊急時の対応について★

(1)大きな地震が発生した場合、会場内では以下の点にご留意下さい。

- ①衣類・持ち物などで頭を覆い、落下物から身を守ってください。
- ②机の下など、より安全な場所に避難してください。
- ③窓ガラスや発表機材（スクリーンやプロジェクタ）から離れて下さい。
- ④揺れが収まるまでむやみに動かず、大会スタッフの指示に従って下さい。

(2)大規模地震発生時における避難場所は、以下の通りです。

第1エリア

屋外：松見上池前広場（本部棟南駐車場）

屋内：1H棟、第1体育館

なお、避難の際には、大会スタッフの誘導に従って下さい

詳しくは、(http://www.tsukuba.ac.jp/up_pdf/20110331203117001.pdf) をご参照ください。

若手研究者のためのラウンドテーブル
教育経営学における新しい研究課題と方法の検討

司会 大林 正史(鳴門教育大学)

教育経営の実践の世界では、教育経営に関する新しい事象が、常に生じていることは言うまでもない。また、教育経営学以外の社会科学においても、常に新しい理論や研究方法論が生み出されている。故に、教育経営学の研究者は、教育経営に関わるその時代の課題を捉え、他分野の学問の動向を把握し、新たな研究課題を設定し、それに応じた新たな研究方法を模索し続ける必要がある。既存の認識枠組にとらわれずに、新しい研究課題を設定し、研究方法を試行することは、特に、研究キャリアが浅い、いわゆる若手研究者に期待されるところが大きいだろう。

では、どのようにすれば、若手研究者が創造性を発揮し、新しい研究課題を設定し、その課題に新しい研究方法で取り組むことを通して、良質な研究成果を生み出すことができるのであろうか。その具体的方策の一つとしては、若手研究者の組織化が挙げられる。だが、現在、若手研究者同士の相互交流は、個人的なつながりに依存しているように思われる。よって、日本教育経営学会として、若手研究者同士の相互交流を今以上に促す必要がある。

以上の問題意識から、本若手ラウンドテーブルの目的として、次の2点を設定する。第一は、若手研究者相互の交流を図ることである。第二は、教育経営学における新しい研究課題とそれに伴う研究方法を模索することである。これらの目的を達成するために、本若手ラウンドテーブルでは、「教育経営学における新しい研究課題と方法」を主題としたい。

「自律的学校経営」と呼ばれる分権改革以降、学校経営研究の実践性や実証性が重視されてきた。スクールリーダー育成への当事者としての関与も求められ、このような変化は研究テーマ設定や事象の捉え方に影響を及ぼし、課題も生じている。末松会員には、これまでのイギリス学校経営改革研究を手がかりに、以上のような研究環境を検討し、これからの若手研究のあり方を考えていただく。

つづいて、仲田会員より、学校経営改革の研究を、社会的不平等問題やポスト福祉社会の社会編成に関わる考察と接合させる必要があるとの立場から、学校と保護者・地域住民との連携を進める学校運営改革について、自らが実施したり関わったりしてきた研究を振り返りながら報告をいただく。その後、参加者皆で自由に議論していきたい。

趣旨説明および司会：大林 正史(鳴門教育大学)

発表者：末松 裕基(東京学芸大学) イギリス学校経営改革研究を手がかりに(約20分)

仲田 康一(浜松大学) 学校-地域連携の社会的探求の意義(約20分)

自由研究発表 1

司会 榊原 禎宏 (京都教育大学)

-
- 09:00 司会挨拶
- 09:05~09:30 経営戦略論の観点から見たスクールリーダー教育に関する考察
—M. ミンツバーグとP. ハーリンガーの「クラフト」概念を比較して—
○山本 遼(広島大学大学院生)
- 09:30~09:55 ドイツ・ニーダーザクセン州における現職教員研修の「分権化」
—政策動向の検討と担当者インタビュー調査に即した現状分析—
○前原 健二(東京学芸大学)
- 09:55~10:20 生徒の意識と行動の構造に適合した教育改善プログラムの開発的研究
—夢いっぱいプロジェクトの理論と実践—
○久我 直人(鳴門教育大学)
- 10:20~10:45 個別学校の特色ある教育活動に対する教員の主体的・積極的意味付与
に関する考察
○安藤 知子(上越教育大学)
- 10:45~11:35 学校職員の国際比較研究
—教員以外の職種の配置状況について—
○藤原 文雄 (国立教育政策研究所)
○植田 みどり (国立教育政策研究所)
○橋本 昭彦 (国立教育政策研究所)
○松本 麻人 (文部科学省)
○新井 聡 (文部科学省)
- 11:35~11:55 共同討議

自由研究発表2

司会 植田 健男 (名古屋大学)

- 09:00 司会挨拶
- 09:05~09:30 学校の内発的改善力を高める組織開発論に関する考察
—佐古秀一氏の実践理論を中心に—
○西川 潔 (御所市立葛城小学校)
- 09:30~09:55 計画的OJTの効果に関する研究
—小学校教員を事例として—
○村上 正昭 (筑波大学大学院生・昭島市立中神小学校)
- 09:55~10:20 子どもの学びを支援する地域と学校とのネットワークづくり
—地域の教育資源を活用した「わくわく理科授業」が生徒と教師に及ぼす影響—
○大関 健道 (野田市立福田中学校)
- 10:20~10:45 自律的学校改善コミュニティの形成を促進する校長のリーダーシップ
とソーシャル・キャピタルに関する実証的研究
○吉村 春美 (東京大学大学院生)
木村 充 (東京大学大学院生)
中原 淳 (東京大学)
- 10:45~11:35 「学習する組織」を志向する学校経営の目標概念に関する考察
○曾余田 浩史 (広島大学)
○曾余田 順子
- 11:35~11:55 共同討議

自由研究発表3

司会 佐藤 修司 (秋田大学)

- 09:00 司会挨拶
- 09:05~09:30 教員人事異動の具申形成に関する調査研究
○町支 大祐 (東京大学大学院生)
- 09:30~10:20 スクールリーダー育成プログラムの開発に関する試論的研究
—大学教員の「持論」を手がかりとして—
○佐野 享子 (筑波大学)
○川口 有美子 (鳥取環境大学)
○高橋 望 (群馬大学)
○柴田 聡史 (東北大学大学院生・日本学術振興会特別研究員)
- 10:20~11:10 教育長の資質能力に関する研究
○日渡 円 (兵庫教育大学)
○藤本 孝治 (兵庫教育大学)
○福島 正行 (兵庫教育大学)
- 11:10~11:30 共同討議

自由研究発表 4

司会 竺沙 知章 (京都教育大学)

- 09:00 司会挨拶
- 09:05~09:55 教職キャリア構築における異動・昇進の影響
○波多江 俊介 (九州大学大学院生)
○妹尾 涉 (国立教育政策研究所)
○高木 亮 (就実大学)
川上 泰彦 (佐賀大学)
- 09:55~10:45 教育行政における費用効果分析の可能性
— 試論的考察 —
○元兼 正浩 (九州大学)
○梶原 健二 (九州大学大学院生)
○金子 健太 (九州大学大学院生・日本学術振興会特別研究員)
○波多江 俊介 (九州大学大学院生)
○畑中 大路 (九州大学大学院生・日本学術振興会特別研究員)
○梁 鎬錫 (九州大学大学院生)
- 10:45~11:35 学校裁量の拡大は進展したのか
— 平成 18、24 年度における教育委員会財務調査の検証 —
○末富 芳 (日本大学)
○本多 正人 (国立教育政策研究所)
○田中 真秀 (筑波大学大学院生)
- 11:35~11:55 共同討議

6月8日(土) 9:00~11:30

会場 文科系修士棟2階 8B210

自由研究発表5

司会 勝野 正章 (東京大学)

- 09:00 司会挨拶
- 09:05~09:30 「教職員の評価・育成システム」の実践研究
○浜崎 仁子 (和泉市立光明台南小学校)
- 09:30~09:55 学士課程及び修士課程における教員養成の考察
○坂野 慎二 (玉川大学)
- 09:55~10:20 教員養成の高度化を踏まえた教員研修の構築に関する研究
—教員評価システムの改善を研修テーマとして—
○山崎 保寿 (静岡大学)
一之瀬 敦幾 (静岡県立小笠高等学校)
- 10:20~11:10 教員評価における目標管理の持つソーシャル・サポート機能に関する研究
—A 中学校の実践事例より—
○諏訪 英広 (川崎医療福祉大学)
○高谷 哲也 (鹿児島大学)
- 11:10~11:30 共同討議

理事会企画ミニシンポジウム

災害復興と教育経営の課題と方策

司会 本図 愛実 (宮城教育大学)

1. 趣旨

甚大な被害をもたらした東日本大震災について、本学会では、教育経営研究という観点からいち早い対応を行ってきた。震災三カ月後に開催された第51回大会では、震災発生時における学校とスクールリーダーの対応を記述し、「実践知」を蓄積する研究に取り組むことが提案され、その後、調査活動を開始した。その成果は『震災時における学校対応の在り方に関する調査研究』としてまとめられた(文部科学省委託研究、平成24年3月)。研究の一部は、『東日本大震災と学校—震災時における学校対応の在り方に関する調査研究をもとに—』(学事出版、平成25年3月)としても公刊されている。

事実の記録を中心とする作業はひとまず終了したが、震災発生から二年、災害復興における課題が種々露わとなるなか、被災地域の教育経営を正常化し充実させていく手立てが引き続き模索されている。それらに対し教育経営研究がどのように関わることができるのか、社会的問いが発せられているといえよう。加えて、内閣府を中心に災害の想定規模見直しが進められ、各地域の実態をふまえた防災・安全教育の在り方も新たな課題となっている。

このような問題関心のもと、被災県に事務局をおく今期の学会執行部においては、三カ年をかけて、「災害復興と教育経営の課題と方策」を学会員の協力とともに追求していくことを提案することとした。学会員による教育経営に関する実践的活動や研究成果を共有し、さらには課題に対する効果的な方策について多面的に探究し社会に提示していきたい。

初回となる本年は、ミニシンポジウムとして、復興における課題に迫り、方策の可能性について議論する。その際、「地域」と「協働」をサブテーマとして議論の深化をめざす。地域とともに歩む学校づくりは、災害発生時と復興期において効果を発揮し、今後もその活用拡大が望まれる一方、地域そのものの消失や地域が抱える課題に学校が直面し苦慮する例も多々生じている。

本シンポジウムでは、教育経営の異なる現場でリーダーシップを発揮してきた会員にご登壇いただく。寺島史朗会員は、震災発生からの二年間、宮城県教育庁教職員課課長として、被災学校の再開・復興の陣頭指揮にあたってきた。三浦研一会員は、事務職員団体の幹部として、従来の共同事務実施体制をもとに、津波により地域が壊滅状態となった市内

各学校の財務体制の再生に尽力してきた。野澤令照会員は、震災をはさみ、仙台市教育委員会次長、仙台市立寺岡小学校校長および仙台市校長会会長といった異なる立場から震災復興において指導力を発揮してきた。

各報告者より、それぞれが関わってこられた現場において復興がどのような動きをみせたのか、その概要や課題をご提示いただき、「地域」と「協働」を底意におく課題解決策の可能性を探っていく手がかりとしたい。

2. 構成

企画の全体説明	牛渡 淳	(日本教育経営学会会長・仙台白百合女子大学)
報告 1	寺島 史朗	(宮城県教育庁教職員課課長) 宮城県の発生時・復興における対応と課題
報告 2	三浦 研一	(前石巻市立石巻小学校・副参事) 学校財務体制の再生
報告 3	野澤 令照	(宮城教育大学教育復興支援センター) 校長会の対応および地域協働による教育復興
質疑応答		
司 会	本図 愛実	(宮城教育大学)

3. その他

本報告については、ポスター報告も活用しながら議論の深化を図ります。本報告の概要がポスターとして掲示されておりますので、シンポジウムの時間内でできなかった質問・コメント等がございましたら付箋紙に記入し、ポスター脇の所定の位置に添付してください。それらについては、学会ホームページに掲載予定のシンポジウム報告に利用させていただく場合があることをご了承ください。

*** ポスターの掲示場所は、総合研究棟A棟 1 階です。**

公開シンポジウム

教育経営における「つながり」の再構築 —子どもの成長を支援する多様な協働へ—

コーディネータ 浜田 博文(筑波大学)

はたして今の学校は、将来の社会の形成者たる子どもたちの成長を十分に支援しうる態勢を築くことができているのだろうか？ 地域社会は、子どもが健やかに成長していくために必要な環境条件や関係を形成できているのだろうか？

2012年10月に滋賀県大津市で起きた中学2年男子生徒の自殺事件の衝撃は記憶に新しい。その背景には他生徒による執拗な暴行やいじめがあったとされる。この事件をめぐっては、校内での教職員の関係や危機管理をはじめ、教育委員会や警察など関係組織による対応の不備、さらには首長と教育委員会との関係や教育委員会制度のあり方など、今日の教育経営が抱える多くの課題が浮き彫りになった。だがここでは、自殺に追い込まれるまでの間に、生徒の異変や苦悩に気づき、支援できるチャンスは少なくなかったという点に着目しておきたい。例えば、生徒の保護者は3度にわたって警察に被害届を出していたし、学校は7月にいじめの有無について生徒アンケートを実施していた。

この事件の衝撃が覚めやらない2013年の1月には、大阪市立高校に通う男子生徒が12月に自殺していたことが報道された。背景には、部活動の顧問教諭による度重なる体罰があったとされる。体罰は以前から日常的に行われており、教育委員会への通報があったが十分な調査は行われず、結局、生徒は自殺に追い込まれてしまった。

いじめも体罰も、教育現場における一種の「閉じられた」関係の中で深刻化する。被害者の子どもは孤独と我慢を強いられるという構造に陥ってしまう。家庭での育児放棄や虐待などはもとより、夜間徘徊や性的問題行動などについても、家族や子どもの孤立・孤独状況と深く結びついている。様々な理由による不登校児童生徒への個別対応も必要とされている。他方で、教育実践に携わる教職員からみれば、学校教育に対する期待や社会的要請が複雑化・多様化し、しかも世代交代の急激な進行のもとで、個人の力量ひいては「教員」だけの力ではそうした子どもへの支援が十分にできないという切実な現実もある。

本シンポジウムでは、今日の教育経営が直面する以上のような問題状況について、率直な討議を行いたい。今の教育現場には、関係する人々や諸機関の間に新たな協働（校内、地域、ひいては地方自治体という視野で）が必要なのではないか？ もしそうだとすれば、どのような主体の間の、いかなる「つながり」のあり方を問い直すべきなのか？ 研究者、

学校管理職・教育委員会事務局、養護教諭、マスコミという異なるアングルから問題提起していただき、多様な協働の実現に向けた「つながり」の再構築を、率直な意見交換によって探りたい。

本学会では昨年・一昨年の大会で、地域住民・保護者による学校経営参加のテーマでシンポジウムが開催された。そこでの討議は主として学校運営協議会という経営参加制度とそれに基づく実践を題材とするものだった。それに対して今回は、子どもたちの生活・学習や教職員の教育実践をとりまく環境条件としての学校および地域社会の実態にスポットを当てたい。

《内容》

まずは、上記の趣旨に基づいて、教育経営研究者の立場から加藤崇英会員（茨城大学）に、これまで学校内外の「つながり」がどのような視角で捉えられ、どのような議論が展開されてきたのか、系譜的な整理をしていただく。次に、学校管理職および教育委員会事務局経験者の立場から金山康博氏（共栄大学、元埼玉県公立小学校校長）に、近年の学校が直面する新たな事態と課題解決に必要な多様な「つながり」について、実践経験をまじえてお話しいただく。次いで、現職養護教諭という立場から、笹川まゆみ氏（茨城県ひたちなか市立勝田第一中学校養護教諭）に、児童生徒理解や学校保健ということに焦点づけて、新たな「つながり」の必要性和困難性についてお話しいただく。最後に、新聞記者として数多くの学校現場で取材を続けてこられた氏岡真弓氏（朝日新聞編集委員教育分野担当）から、今日の学校課題とそこでの「つながり」の現状・問題などについて語っていただく。

◎コーディネータ　：浜田博文（筑波大学）

◎スピーカー

- 加藤崇英（茨城大学）
教育経営研究者の立場から
- 金山康博（共栄大学、元埼玉県公立小学校校長）
学校管理職・教育行政経験者の立場から
- 笹川まゆみ（茨城県ひたちなか市立勝田第一中学校養護教諭）
現職養護教諭の立場から
- 氏岡真弓（朝日新聞編集委員教育分野担当）
学校現場を取材するマスコミの立場から

6月8日(土) 17:15～18:30

会場 第1エリア1H201

総 会

*御欠席される会員は、同封の大会参加申込ハガキにある「委任状」に必要な事項を記載の上、ご投函ください。

6月8日(土) 18:45～20:15

会場 第1エリア食堂

懇 親 会

会費 : 4,000 円

茨城の銘酒や名品を取り揃えてお待ちしております。年一度の貴重な会員交流の場ですので、皆さまお誘いあわせの上ご参加いただければ幸いです。

6月9日(日) 8:10~10:40

会場 総合研究棟A棟 A107

自由研究発表6

司会 西川 信廣 (京都産業大学)

- 08:10 司会挨拶
- 08:15~08:40 学校における教職員のリーダーシップに関する事例研究
—ある中学校のスクールヒストリーの分析—
○大林 正史 (鳴門教育大学)
- 08:40~09:30 地域社会を育てる学校経営
—協働から協創へ—
○樫 千種 (兵庫県立明石清水高等学校)
○大内 雅勝 (兵庫県立明石清水高等学校)
- 09:30~10:20 「総合的な学習の時間」における四者協議会の実践
—志木市立志木第二中学校の事例から—
○村上 純一 (東京大学大学院生)
○武井 哲郎 (びわこ成蹊スポーツ大学)
○仲田 康一 (浜松大学)
○押田 貴久 (宮崎大学)
- 10:20~10:40 共同討議

自由研究発表7

司会 高妻 紳二郎 (福岡大学)

- 08:10 司会挨拶
- 08:15~08:40 「専門職の学習共同体」としての学校に関する基礎的研究(2)
○織田 泰幸 (三重大学)
- 08:40~09:05 イギリスにおける学校ミドルの役割と課題
○末松 裕基 (東京学芸大学)
- 09:05~09:30 専門職基準としての Ontario Leadership Framework の概要
ー学校管理職及び学校システム管理者のための専門職基準の作成
と改訂ー
○鈴木 久米男 (福島県立好間高等学校)
- 09:30~10:20 教職における「新しい職」の確立過程に関する実証的研究(1)
○木岡 一明 (名城大学)
○野村 ゆかり (高知市立潮江南小学校)
加藤 崇英 (茨城大学)
○織田 泰幸 (三重大学)
○照屋 翔大 (愛知東邦大学)
- 10:20~10:40 共同討議

自由研究発表 8

司会 林 孝 (広島大学)

- 08:10 司会挨拶
- 08:15~08:40 幼稚園教諭のストレスに関する研究
○高木 亮 (就実大学)
波多江 俊介 (九州大学大学院生)
- 08:40~09:05 学校改善における教員の自律性と組織性についての実践的研究
—小学校の教育課程編成過程に着目して—
○上山 登 (宇都宮大学大学院生)
藤井 佐知子 (宇都宮大学)
- 09:05~09:30 教員の多忙感の構造と規定要因
—労働時間に着目して—
○神林 寿幸 (東北大学大学院生)
- 09:30~09:55 小学校区におけるソーシャル・キャピタルの醸成過程
—「地域共生科」カリキュラムの事例分析—
○露口 健司 (愛媛大学)
- 09:55~10:20 日本の大学における学生参加型FD・教育改善の取り組みに関する一考察
○服部 憲児 (大阪大学)
- 10:20~10:40 共同討議

自由研究発表9

司会 武井 敦史（静岡大学）

- 08:10 司会挨拶
- 08:15~08:40 0JTのための校内環境づくり
○江口 千穂（練馬区立開進第一小学校）
- 08:40~09:05 市立化された高等学校における地域・学校間関係の課題
—市立三笠高等学校を事例として—
○植井 真（三笠市立三笠高等学校）
- 09:05~09:30 学校におけるネットワーク型0JTの試み
○笹田 茂樹（富山大学）
- 09:30~10:20 教員の意識にみる教育の情報化の現状と課題
○福本 昌之（川崎医療福祉大学）
○諏訪 英広（川崎医療福祉大学）
○金川 舞貴子（岡山大学）
○米沢 崇（広島大学）
- 10:20~10:40 共同討議

6月9日(日) 8:10~10:40

会場 文科系修士棟 2階8B210

自由研究発表 10

司会 添田 久美子 (愛知教育大学)

- 08:10 司会挨拶
- 08:15~08:40 公立小学校における主体的な学びを実現する学校経営
—福岡市立東箱崎小学校での実践研究—
○讃井 康智 (東京大学大学院生)
- 08:40~09:05 学校教育における規範意識の醸成に関する日米比較考察
○岡田 順一 (南山大学)
- 09:05~09:30 「児童自立支援施設のなかの公教育」
—横浜市立新井小学校新井中学校桜坂分校—
○石渡 達也 (横浜市立新井小学校)
- 09:30~09:55 学校生活に課題を有する子どもの背景に関する—考察
—社会関係資本概念を手がかりに—
○柏木 智子 (大阪国際大学)
- 09:55~10:20 小中併設校の組織と運営
○屋敷 和佳 (国立教育政策研究所)
- 10:20~10:40 共同討議

実践研究フォーラム

「校長の専門職基準」再検討の方向性を問う

司会 浅野良一（兵庫教育大学／実践推進委員）

昨年6月に第Ⅲ期実践推進委員会が発足した。我々のミッションは校長の専門職基準の検討に留まらず、教育経営の最前線（学校現場、教育行政機関）との対話や理論と実践の関係整理など広く学会の「実践」的な活動を推進していくことにありと自覚しているが、まずは専門職基準をめぐる現状と課題を把握・整理し、今後我々がどのような方向で検討していくべきかについて会員の意見を聴取する機会を頂戴したく本フォーラムを企画した。

校長の専門職基準そのものは第Ⅰ期の委員会が作成し(2009年版)、第Ⅱ期は実態調査や解説書作成などその「普及」活動に力を注いだため、基本的な理念や構成には手をつけず、基準の微修正にとどめている(2012年一部修正版)。そこで第Ⅲ期委員会のスタンスとして、そもそもの基準そのものによって立つ原理や構成をどう考えるかということが当面の焦点になると考えている。第Ⅱ期委員長でありかつ第Ⅰ期からの委員でもある牛渡淳会長には専門職基準の見直しあたっての期待を、幹事会からは現行基準の具体的課題を、第Ⅲ期の曾余田浩史副委員長からは検討の方向性をご提示いただく。忌憚のない議論を期待したい。

(文責：元兼正浩)

10:55~11:00

本フォーラムの趣旨説明 元兼正浩（九州大学／第Ⅲ期実践推進委員会委員長）

11:00~11:10

専門職基準の見直しにあたって期待すること 牛渡淳（仙台白百合女子大学／会長）

11:10~11:55

現行専門職基準の検討課題について（担当：実践推進委員会幹事会）

基準1 日高和美（九州共立大学／実践推進委員会幹事長）

基準2 大竹晋吾（福岡教育大学）

基準3 元兼正浩（九州大学）

基準4 金子研太（九州大学大学院生／日本学術振興会特別研究員）

基準5 梶原健二（九州女子短期大学／九州大学大学院生）

基準6 畑中大路（九州大学大学院生／日本学術振興会特別研究員）

基準7 波多江俊介（九州大学大学院生）

11:55~12:10

今後の検討の方向性について 曾余田浩史（広島大学／実践推進委員会副委員長）

12:10~12:40

フロアからの意見聴取、質疑応答

課題研究

人口減少社会における持続可能な学校経営システムの開発（1）

－研究の課題と枠組み（比較の視点から）－

司会 加藤 崇英（茨城大学） 北神 正行（国土舘大学）

わが国は人口減少社会に突入し、学校教育の在り方についても新たな局面を迎えている。具体的には、人口減少に伴う学校規模の縮小化と、それに対応した学校経営の在り方の再構築という課題への対応である。

学校の小規模化に伴う学校再配置問題は、現在各地の自治体が直面する問題であるが、少子高齢化が進行する中で、将来に向かっては、わが国が全国的に抱えるより重い課題となるものでもある。特に、学校再配置という名の学校統廃合自体も難しい問題であるが、統廃合した結果、自治体内に学校が1校しかないという段階に至った時点で、既にその学校も小規模化しており、更に小規模化が進行する姿も差し迫った課題だといえる。

こうした状況は、従来の学校のシステムでは、学校を維持・存続させられない事態が全国に広がっていくことを意味し、我々は学校という概念やシステムの在り方自体を再考せざるを得ない局面に立たされているともいえる。近代教育システムは、人口増を前提にこそすれ、人口減少を前提して設計されたシステムではない。しかし、その一方で教育拠点としての学校の可能性を我々は放棄することはできない。これまで当然視してきた学校の姿とは異同はあるものの、次世代への学校の姿を模索していくことが、教育経営研究上の重要な課題だといえるのではないだろうか。

今期研究推進委員会では、そうした問題認識のもと、第1回目に当たる今回の発表では、日本におけるこれまでの研究動向の整理を行いながら、異なる視点を比較研究の観点から得るために、韓国、イギリスを取り上げ、そこでの小規模学校の存続をめぐる動向についての検討から、人口減少社会の中で持続可能な学校システムの開発に求められる課題等について協議する場として計画したものである。

<発表者>

1. 人口減少社会における日本の教育経営課題

波多江俊介（九州大学大学院・院生） 川上泰彦（佐賀大学）

2. 韓国における学校適正規模化政策の変遷と実態 貞広齋子（千葉大学）

3. イギリスにおけるFederationの取り組み 植田みどり（国立教育政策研究所）

〔シリーズ〕
講座 現代学校教育の高度化
 小島弘道監修 定価各二二〇五円

現代の教育法制④ 篠原清昭、笠井尚、生島重樹子著
 考える教師―省察、創造、実践する教師⑤ 山崎雄二、榊原慎宏、辻野けんま著
 生涯学習と学習社会の創造⑥ 佐藤晴雄、望月厚志、柴田彰千子著
 スクールリーダーシップ⑦ 小島弘道、淵上克義、露口健司著
 学校づくりとスクールミドル⑧ 小島弘道、熊谷慎之輔、末松裕基著
 学校づくりの組織論⑨ 佐古秀一、曾余田浩史、武井敦史著
 授業づくりと学びの創造⑩ 田中耕治、森脇健夫、徳岡慶一著
 学校教育とキャリア教育の創造⑪ 渡部三枝子、鹿嶋研之助、若松義亮著
 学校教育と道徳教育の創造⑫ 吉田武男、相澤伸幸、柳沼良太著
 学校改善と校内研修の設計⑬ 北神正行、木原俊行、佐野享子著
 学校教育と国民の形成⑭ 宮寺晃夫、平田論治、岡本智周著
 社会参画と社会科学教育の創造⑮ 唐木清志、西村公孝、藤原孝章著

オーストラリアの教育改革

―21世紀型教育立国への挑戦 佐藤博志編著 定価一八九〇円
 二一世紀型教育立国をめざすオーストラリアの教育改革の最新動向を報告する。

地域と教育

―地域における教育の魅力 井田仁康編著 定価三六七五円
 地域の特性を踏まえた教育を明らかにし、社会科学教育の教育方法を提示する。

増補版 教育実習ハンドブック

柴田義松、木内剛 編著 定価一七八五円
 最新の学習指導要領、教職実践演習にも対応、教育実習事前対策に必須の一冊。

教師の仕事を考える

杉山雅、兵庫民主教育研究所教師論委員会 編 定価七三三〇円
 教員が直面する問題を取り上げ、その生活指導において、具体的な解決策を提示。

教育学概論

―教師教育テキストシリーズ1 三輪定宣著 定価二二二〇円
 教育とは何かを問い、教育、教師、教育学の未来を展望する待望の一冊。

教育学用語辞典〔第四版(改訂版)〕

編集代表 岩内亮一・本吉修二・明石要一 定価二六二五円
 教育関連法規の改正に対応した改訂版、事項約八〇〇、人名約一〇〇項目を収録

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<http://www.gakubunsha.com>

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
 E-mail: eigyo@gakubunsha.com

教育小六法

《平成25年版》2013

2色刷 ●定価2835円

教育関係法令240件、重要資料15件を収録

〔編集委員〕市川須美子、浦野東洋一、小野田正利、窪田真一、中嶋哲彦、成嶋隆

好評発売中!!

- ◆「子ども・子育て支援法」など11件の法令・通知等を新たに収録
- ◆「可児市子どもいじめの防止に関する条例」など6件の法令等を新収録
- ◆「武道必修化に伴う柔道の安全管理の徹底について」など5件の通知等を新収録

教職概論 教師を目指す人のために

佐藤晴雄著 ●定価2520円

教師とは何か、教師の仕事や専門性とは何か、どうすれば教師になれるのか。こうした初学者の疑問に答えながら教職へと誘う基本図書。大学教職課程の「教職の意義等に関する科目」のテキストに最適。

現代教育概論 第3次改訂版

佐藤晴雄著 ●定価2520円

佐藤晴雄著。なぜ、人間に教育という営為が誕生したのか―という問いに始まって、教育学の基礎理論を踏まえながら、現代の教育改革をめぐる動向や教育課題を解き明かす。単なる概論書にとどまらず、最新の実践的事項を詳述。

生涯学習概論 基礎基本的な知識を習得

佐藤晴雄著 ●定価2625円

生涯学習及び社会教育の歴史にはじまり、今後の問題まで、バランス良く、平易な書き方で概括した基本図書。社会教育主事等必修科目。

逐条学校教育法 第7次改訂版

鈴木勲編著 学校教育法の解釈・運用の定本! 各学
 校種の目的・目標の見直し、副校長などの新しい職の創設、
 学校の評価及び情報提供に関する規定の新設などの大
 改正を盛り込んだ大幅改訂版。
 ●定価13,650円

新版 教育小事典 第3版

平原春好・寺嶋昌男〔編集代表〕 ●定価2730円
 教育改革に対応した信頼ある事典。◆総収録945項目
 ◆新規収録114項目 ◆充実した事項索引つき



学陽書房

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-3
 TEL.03-3261-1111 FAX.03-5211-3300 (価格5%税込)

<http://www.gakuyo.co.jp>

日常でよく使われる用語を収録し、
多くの用語を示した表記辞典の決定版

用字用語 新表記 辞典

新訂四版



天沼 寧、加藤彰彦 編
B6判・816ページ・並製・ケース入 定価1,785円(税込)

- 国語表記の目安となる内閣告示、通知・通達及び文部科学省資料等に基づいて編集した、現代日本語を書くための表記辞典の決定版です。
- 見出し語には、現代表記に必要な約2万6千語を収録し、それぞれに豊富な用例を掲げ、さらに参考表記、言い換え、公用文の表記等を示しました。特に公用文の表記については注釈等も充実、実務の必携書です。

学校経営に関するトラブル対応を
法的根拠に基づき解説!

学校経営の 危機管理



—トラブル対応と法的解説—

編集代表：下村 哲夫・天笠 茂
加除式・B5判・全2巻 定価12,600円(税込)

- 学校で実際に起きた事例や発生が予想されるトラブル事例を題材に、教育現場の視点から具体的な対応策をQ&A形式で解説!
- 災害：管理職不在時に地震が起きたら?
- 職場：教職員の多忙感を解消するには?
- いじめ：警察への通報の留意事項とは?

商品の詳細、お申込みは **第一法規** **検索** **CLICK!**



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8580
<http://www.daiichihoki.co.jp>

ご注文はWEBからも承ります。

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

第42回 教育展望セミナー

- 大会主題：学校をどう変えるか
- 日程：平成25年8月5日(月)、6日(火)
- 5日(月) 全体会
教育講演 遠藤 章 (東京農工大学特別荣誉教授)
パネルディスカッション 「いま、学校に求められる変革」
- 6日(火) 分科会
経営部会 ・学校評価を生かしたマネジメント確立の取組
・教師の資質・能力を高める校内研修の改革
小学校部会 ・学力を向上させる知的コミュニケーション
・好ましい人間関係を育む学級づくり
中学校部会 ・思いやりと相互尊重の心の育成
・生徒の学ぶ力を育てる授業改善
- 会場：アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
(JR・地下鉄市ヶ谷駅下車、徒歩3分)
- 参加費
2日間：14,000円、1日のみ：9,000円 (含資料代)
- お申し込み
ご参加には事前のお申し込みが必要です。ご希望の方は当研究所まで、開催案内をご請求ください。

月刊「教育展望」

毎月1日発行
A5判, 448円+税

- 2013年 特集
5月号 新教育課程の中間点検と今後への課題
4月号 日本の教育の下流化を問う
3月号 いじめ問題と学校教育
1・2月号 学校教育におけるリーダーの役割

「教育展望」臨時増刊

セミナー研究討議資料
A5判, 2,381円+税

- No.44 (第41回教育展望セミナー) 2012年7月発行, 120ページ
岐路に立つ教育の未来を考える
No.43 (第40回教育展望セミナー) 2011年7月発行, 124ページ
新しい教育課程を実現する学校力・授業力

研究紀要

- 第93号 こどものリーダーシップ教育の実態と指導上の課題
(予定) 2013年7月発行, B5判, 96ページ, 952円+税
第92号 防災教育の現状と今後の取り組み
2012年5月発行, B5判, 96ページ, 952円+税
第91号 ミドルリーダーとしての主幹教諭の職責と育成
2011年6月発行, B5判, 96ページ, 952円+税
第90号 校内研究の実態と充実のための方策
2010年5月発行, B5判, 96ページ, 952円+税

財団法人 教育調査研究所 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
TEL: 03-3238-6974 FAX: 03-3238-6975 E-mail: chouken@estate.ocn.ne.jp

教育学関係学術図書のご案内

価格は税込。

近代日本におけるプロジェクト・メソッドの受容

遠座 知恵著 9450円

わが国で大正新教育期に取り組まれたプロジェクト・メソッドの理論・実践研究の特質を、多様なアメリカ教育情報の成立とその受容の実態解明に基づいて考察する。

専門図書館における現職者教育と個人の能力開発

長谷川昭子著 8400円

専門図書館の人材育成に焦点をあて、今後増加が予想される非正規職員の教育訓練のあり方と個人の能力開発の有効な方法を提示。図書館利用者に有益な方策を探る。

中学校社会科の教育内容の開発と編成に関する研究

藤瀬 泰司著 10500円

価値観の多様化が進む今日、社会科はどうあるべきか。この問題に挑む中学校社会科教育論を提起して、地理的・歴史的・公民的分野の授業を作り実践した提案の書。

市民性を育成する地理授業の開発

永田 成文著 8400円

市民性を育成する地理教育の学習理論「社会的論争問題学習」とフレームワークを構築・設定し、それに基づいた小・中・高の発達段階に応じた地理授業を開発する。

米国教師教育制度史研究

村山 英雄著 11550円

米国の初等教員養成に不滅の足跡を残したニューヨーク州立オーバニオン師範学校の成立・発展過程を詳細に検討、今日の米国教員養成の特色を歴史・政策的側面から考察。

昭和戦前期初等歴史教育実践史研究

福田 喜彦著 11550円

昭和戦前期に刊行された歴史教育雑誌を通して、初等教育段階での歴史教育の理論と実践を考察しつつ、歴史授業構成論に類型化し、その特質・意義・課題を明らかにした新著。

現代ドイツ中等歴史学習論改革に関する研究

宇都宮明子著 8400円

ドイツの指導要領と中等社会系教科書の分析から歴史学習の変革過程を考察することで、現代ドイツにおける中等歴史学習の現実的変革の論理と構造を解明する。

保育制度改革と保育施設経営

伊藤 良高著 7875円

保育制度改革と保育施設経営について、「保育自治」の観点から、保育所経営をめぐる課題と課題を中心に理論的・実践的に考察し、保育のための経営論を提唱する。

アメリカにおける教育官僚制の発展と克服に関する研究

松原 信継著 9975円

米国の教育官僚制の発展要因を歴史的・制度的に解明するとともに、市民と官僚制組織の関係をつくり直す「社会運動」としてのADRの性格に光をあてた大著。

現代米国の教員団体と教育労働法制度改革

高橋 哲著 8400円

労働法をモデルとして形成された米国の教員法制。そこで展開された教員団体の運動を手がかりに、教師の労働基本権と専門職性をめぐる問題を検討する。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <http://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

偉大なるアメリカ公立学校の死と生

——いかにテストと選択が教育をだめにしてきたか——

教育改革推進の深部にいた著者はなぜ翻意したのか。三十年に及ぶアメリカ教育改革から私たちは何を学ぶことができるのか。公立学校、教員、評価の在り方を考えていく際の必読の書。

ダイアン・ラビッチ 著 / 宮城教育大学大学院教授 本岡 愛実 監訳

共訳 石嶺 ちづる(自由ヶ丘産能短期大学 講師) / 鈴木 耕平(東京大学大学院教育学研究科) / 成松 美枝(聖隷クリストファー大学 准教授)
湯藤 定宗(帝塚山学院大学 准教授) / 米岡 裕美(埼玉医科大学 講師) / 米原 あき(明治大学 助教)

ISBN978-4-319-00681-6 定価:本体価格2,800円+税

第1章 学校改革にたずさわって / 第2章 ハイジャック!スタンダード追求からテスト結果追求への転換 / 第3章 ニューヨーク市第二地域学区の変容 / 第4章 サインディエゴで起きたこと / 第5章 ニューヨーク市のビジネスモデル / 第6章 NCLB:測定し罰する / 第7章 選択:アイディアのストーリー / 第8章 アカンタビリティの欠陥 / 第9章 ラトリフ先生ならどうしただろうか / 第10章 億万長者の慈善活動同好会 / 第11章 示唆されること



協同出版

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5
TEL 03-3295-1341 FAX 03-3233-0970

教育の本質に叶った経営・改革を

原理原則を踏まえた大学改革を

―場当たり策からの脱却こそグローバル化の条件―

昭著 四六・上製・二三四頁・二〇〇円

大学経営への新たな視点

大学の発想転換

―体験的イノベーション論―

坂本和一著 四六・並製・二二六頁・二〇〇円

大学戦略経営論

―中長期計画の実質化によるマネジメント戦略―

篠田道夫著 A5・上製・三六〇頁・三二七〇円

30年後を展望する中規模大学

―マネジメント・学習支援・連携―

市川太一著 四六・上製・二四〇頁・二五二〇円

国立大学法人化とその問題点

国立大学法人の形成

大崎仁著

四六・上製・二五六頁・二七三〇円

国立大学・法人化の行方

―自立と格差のはざまで―

天野郁夫著 A5・上製・三六八頁・三七八〇円

高等教育 特に私立大学の経営に関して

私立大学の経営と拡大・再編

両角亜希子著

A5・上製・四四〇頁・四四一〇円

私立大学マネジメント

私立大学連盟編

A5・上製・七二二頁・四九三〇円

大学経営管理職養成のために

アメリカ大学管理運営職の養成

高野篤子著

A5・上製・二六四頁・三三六〇円

(新版)大学事務職員のための高等教育システム論

―より良い大学経営管理職となるために―

山本眞一著 四六・並製・一七六頁・一八九〇円

教育経営のための理論と実践の発展

教育マーケティング理論の新展開

佐藤亨子著

A5・上製・三三〇頁・三七八〇円

オーストラリア学校経営改革の研究

―自律的学校経営とアカウンタヒリテイ―

佐藤博志著 A5・上製・三三八頁・三九九〇円

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
<http://www.toshindo-pub.com>

東信堂

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514
Email tk203444@fsinet.or.jp [価格税込]

川島書店



〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-15-17 (税込)

Tel 03-3365-0141(代) Fax 03-3365-1101 <http://kawashima-pb.kazekusa.co.jp/>

甦る教師のために

教員研修・講習テキスト 6300円

鈴木正幸・加藤幸次・辻村哲夫・松井一磨・桑原敏明・篠田弘・山本克典編著 この講習をきっかけに、教師がどのような形であれ、自己変革を遂げていくことが可能であるようにとの思いを込めた。

教育学の探究

佐藤博志編著

1785円

地域教育論

遠藤克弥編著

1890円

道徳教育をまなぶ

生涯学習思考から脱皮し、新たな社会教育として再出発をはかる。

1680円

続・学童保育実践の記

遠藤克弥・田部井潤編著

1995円

地面のかさぶた

堀徹造著(解説・松木健一)

2310円

教育関係論の現在

高橋勝・広瀬俊雄編著

2625円

重障児の現象学

現代の人間形成の課題を「関係性」という視点から多彩に読み解く

3360円

山峡の学校史

花井信著

4200円

論文の手法

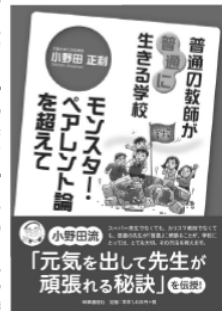
ポレミックな、知的刺激にあふれた教育史研究を読者に提供する。

1470円

花井信著 日本教育史研究法・序説 初学者向けに、著者みずからの研究手法を公開した論文指南の書。

普通の教師が「普通」に生きる学校 小野田正利・著
モンスター・ペアレント論を超えて
 小野田流「元気を出して先生が頑張れる秘訣」を伝授！

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
 スーパー先生でなくても、カリスマ教師でなくても、普通の先生が「普通」に頑張ることが、学校にとっては、とても大切。学校と保護者の間に生じるトラブルや紛争状況を、どうやって解決していくか、豊富な事例とともにトラブル回避の方法を詳述します！



教育論議の作法

教育の日常を懐疑的に読み解く

教育改革を声高に主張する議論は、どこか怪しい感じがつきまとう。現代の教育改革や教育問題を議論する上で、本書は、それらを自明視するのではなく、少し日常から引いた視点で捉え直すことで、新しい教育の可能性について問題提起する。

モバイル社会を生きる子どもたち

近藤昭一・著

「ケータイ」世代の教育と子育て
 子どもたちは、なぜケータイに魅入られ、メールやブログに依存するのか。この疑問を心の成長の視点から解明し、モバイル社会に必要な教育・子育てを提言する、保護者および教育関係者必読の書！

「教師力」向上の鍵

横浜市教育委員会・編著

「メンターチーム」が教師を育てる、学校を変える！
 教職員の大量退職と大量採用時代を迎え、大きく変化する学校現場。若手教員の早期育成が求められる中、人材育成システム「メンターチーム」が人と人をつなぎ、教師を育て、学校現場を活性化する！

◆B5判 一五二頁 二四一五円(税込)

◆四六判 一九八頁 一四七〇円(税込)

◆四六判 二五〇頁 一六八〇円(税込)

時事通信出版局

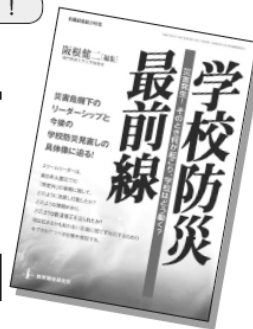
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1 日本プレスセンタービル 1F
 Tel.03-3501-9855 Fax.03-3501-9868 <http://book.jiji.com>

災害危機下のリーダーシップと
 今後の学校防災見直しの具体像に迫る！

好評発売中！

学校防災 最前線

災害発生！ そのとき何が起これり、学校はどう動く？



編集 阪根健二 鳴門教育大学大学院教授

スクールリーダーは、
 3.11で「想定外」の事態に直面したとき、
 何を決断し行動したか？
 どのような課題があり、どのような軌道修正を迫られたか？
 明日起きるかも知れない災害に慌てず対応するための
 今できる打つべき対策を探る！

A5判/160頁/定価1,995円(税込)

本書の構成

- 1章 災害発生！ そのとき学校はどう動く？
 ①被災地からの報告：震災発生時の校長のリーダーシップ/特別な支援を要する子への配慮/他
 ②首都圏の学校からの報告：首都圏における学校防災課題/移動教室先で被災
 ③学校防災専門家からの報告：阪神・淡路大震災の教訓/ヒアリング調査から/他
- 2章 災害に強い学校をつくる
 校長のリーダーシップ/学校組織体制と研修/防災マニュアルの改善/企業防災の現在/他
- 3章 我が校の防災対策・防災教育
 兵庫・舞子高校/徳島・津田中/青森・堤小/他

〒113-0033 東京都文京区本郷2-15-13

教育開発研究所

●無料FAX注文：0120-462-488 ●電話注文：03-3815-7041
 ●オンラインショップ：<http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp>

なぜ、学んだものをすぐに忘れるのだろうか、「学び」と「忘れ」の法則

フランク・スミス著 橋本直実／福田ステイプ利久監訳 「なぜ私たちは学ぶのか」「なぜ私たちは忘れるのか」を題材に、学びと忘れの古典的・伝統的な学習理論を紹介し、現代教育の原点を別の視点から問う。 定価1575円

学校組織の信頼

露口健司著 実践レベルでは極めて高い関心を抱かれている、学校組織における信頼（あるいは信頼される学校づくり）という事象について、実証的な方法で切り込んだ一冊。 定価2940円

保育指針・教育要領・学習指導要領を読み解く事典

中島正明 編著 教育内容や方法を表現する具体的な事項を元にして国民形成の設計書を横断的・縦断的に眺めることで、関連する目標や内容の系統的な広がりを一覧する。 定価3780円

高等教育機関の発展

D・ガマゲ／植山剛行著 植山剛行訳 欧州・中東・アジアの歴史的認識を踏まえながら現代の高等教育機関の組織的特徴を分析し、さらに組織による質の保証の問題と、その解決手段を提示。 定価2310円

現代社会における人間と教育

曾我雅比呂／血田琢司 編著 教育学と教育心理学それぞれの視点より教育問題を論じ、学校・家庭・地域社会と幅広い領域にわたり総合的に教育と人間形成の問題を考察する。 定価2940円

産業教育・職業教育学ハンドブック

日本産業教育学会編 戦後を中心とする産業教育と職業教育の成果を凝集。学校教育（高等教育を含む）から企業内教育、公共職業訓練、海外の職業教育等について詳細に述べた。 定価3990円

憲法と学校教育

大西 斎著 「子どもの教育を受ける権利」によつて確に保障された学校や教育制度は社会にとってきわめて重要である。憲法の基本理念や26条から、これらの解明を試みる。 定価2940円

株式会社 大学教育出版 〒700-0953 岡山市南区西市 855-4 e-mail: eigyo@kyoiku.co.jp
TEL(086)244-1268 (代) FAX(086)246-0294



創基141年 筑波大学40周年記念
40th anniversary of University of Tsukuba

日本教育経営学会第53回大会実行委員会

- 委員長 浜田博文（筑波大学）
- 事務局長 佐藤博志（筑波大学）
- 委員 大谷奨、窪田眞二、佐野享子、藤井穂高（筑波大学）
水本 徳明 （同志社女子大学）
大林 正史 （鳴門教育大学）
小柳雅子、田中真秀、張揚、チャクル・ムラット、
鈴木瞬、内田沙希、吉田ちひろ、留目宏美、山本直子、
西依美香、古田雄一 （筑波大学大学院院生）

【大会準備委員会事務局】

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学人間系教育学域
日本教育経営学会第53回準備委員会 宛
Tel : 029-853-6743
E-mail : jasea53@human.tsukuba.ac.jp

スクール・セクハラ

※本作品は2001年9月発売のVHS版「スクール・セクハラ」をDVD化したしました。



全2巻

①小学校編

- プロローグ
- 家庭的対応
- セクシュアル・ハラスメントとは
- スクール・セクハラの影響
- スクール・セクハラの特徴
- 防止に向けての取り組み

監修=村瀬幸浩(「人間と性」教育研究協議会 幹事)

②中高校編

- プロローグ
- 家庭的対応
- セクシュアル・ハラスメントとは
- スクール・セクハラの影響
- スクール・セクハラの特徴
- 防止に向けての取り組み

[DVD] ●各巻約25分 ●セット価格45,150円(税込)
●第1巻価格18,900円(税込) 第2巻価格26,250円(税込) 48720/48721 ●付録 テキスト

スクール・コンプライアンス



全3巻

①小学校編

- プロローグ
- 多発する教師の不祥事
- 起こしてしまいがちなコンプライアンス違反
- 問われる教師のコンプライアンス意識
- 信頼を背負う教師たち

監修=菱村幸彦(国立教育政策研究所名誉所員)

②中学校編

- プロローグ
- 多発する教師の不祥事
- 起こしてしまいがちなコンプライアンス違反
- 問われる教師のコンプライアンス意識
- 信頼を背負う教師たち

③高校編

- プロローグ
- 多発する教師の不祥事
- 起こしてしまいがちなコンプライアンス違反
- 問われる教師のコンプライアンス意識
- 信頼を背負う教師たち

[DVD] ●各巻約22分 ●セット価格72,450円(税込)
●第1巻価格18,900円(税込) 第2巻価格24,150円(税込) 第3巻価格29,400円(税込) 48717/48718/48719

教員のための保護者対応力向上シリーズ



全6巻

①保護者対応の基本

- (小中高校に対応)
- プロローグ
 - 対応の心構え
 - 対応の基本
 - 対応のテクニック
 - エピソード

②保育園・幼稚園編

- プロローグ
- よくある事例
- ディスカッション問題
- 対応のテクニック
- エピソード
- 特典映像 ロールプレイング

③小学校編

- プロローグ
- よくある事例
- ディスカッション問題
- エピソード
- 特典映像 ロールプレイング

④中学校編

- プロローグ
- ディスカッション問題
- よくある事例
- エピソード
- 特典映像 ロールプレイング

⑤高校編

- プロローグ
- ディスカッション問題
- よくある事例
- エピソード
- 特典映像 ロールプレイング

⑥対応の難しいケース編

- (保育園・幼稚園、小中高校に対応)
- プロローグ
 - 生きづらさや葛藤を抱えている保護者への対応
 - 違法行為・不当要求への対応
 - 問題が別にある場合への対応
 - エコロジカルマップ
 - エピソード

監修=小野田正利(大阪大学 大学院人間科学研究科教授)

[DVD] ●第1巻約20分 第2巻約22分+特典映像約15分 第3巻約22分+特典映像約15分 第4巻約20分+特典映像約15分 第5巻約22分+特典映像約15分 第6巻約25分 ●セット価格168,000円(税込) ●第1巻価格21,000円(税込) 第2巻価格15,750円(税込) 第3巻価格21,000円(税込) 第4巻価格26,250円(税込) 第5巻価格31,500円(税込) 第6巻価格52,500円(税込) 48732/48733/48734/48735/48736/48737 ●付録 テキスト(全巻) ロールプレイング用名札(2~5巻)

教員のためのメンタルヘルス



全3巻

①上手なセルフケアのヒント

- プロローグ
- [ケースドラマ]異動したベテラン教師
- 適応障害とその要因
- セルフケア1ー心の持ち方
- セルフケア2ー心身の変調に気づく
- セルフケア3ー心身の変調を感じたとき対処法
- エピソード

②同僚のSOSには相互ケア

- プロローグ
- [ケースドラマ]追い詰められた新探教師
- 周囲が気づきたい心の病のサイン
- 対応で注意したい点
- 助け合うことの大切さ
- エピソード

③働きやすい職場をつくるラインケア

- プロローグ
- 身体の病気と異なる精神疾患の特徴
- ラインケアのポイント1ー気づく
- ラインケアのポイント2ー声かけ・聴く・つなげる
- ラインケアのポイント3ー復職支援
- エピソード

監修=真金 薫子(社団法人 東京都教職員互助会 三楽病院 精神神経科 部長)

溝口り子(社団法人 東京都教職員互助会 三楽病院 精神神経科 臨床心理士長)

[DVD] ●第1巻約23分 第2巻約19分 第3巻約21分 ●セット価格94,500円(税込)
●各巻価格31,500円(税込) 48738/48739/48740

申込書—下記をご記入の上、FAX (03-5255-8412) でお申し込みください。

タイトル	税込価格	申込数	御注文は
DVD			日本経済新聞出版社 TEL 03-5255-2870 FAX 03-5255-8412
DVD			
DVD			
住所 〒	TEL	FAX	発行 日本経済新聞出版社
学校名(団体)	部署名 役職		
氏名	E-mail:		

※送料：無料(国内限り) 消費税：5%